



建国記念祭  
ご教話の大阪本部長様

豊かになる為に、知識は欠かれません。最後の「よい行い」についても、世の為、人の為に尽くそうと思っても、知識が無ければ人助けをする事も出来ないということなのです。一口に「知識」と言っても、大きな、広い意味があり、ただただ勉強すればいい、という事では無いかと存じます。

その天照皇大神が中つ国（我々の住む世界）を見下ろして、何と素晴らしい国が出来たのだろう。この国を是非私の子孫に治めさせたい。」と考えられました。そこで天照皇大神は、主之命に対して「この豊か美しい国を私に譲って欲しい」と仰いました。このお話は「国譲り」として有名な神話の一つです。

正式には「紀元節」と云い、明治二十一年に発表された、作曲伊沢修二氏、作詞高崎正風氏の唱歌です。祝詞集の九〇頁をご覧頂くと良いかと存じますが、一番の「高千穂」は、宮崎県日向市の高千穂のことです。神話の中で「天孫降臨」の舞台となった場所。そして、「高根おろし」は「伊吹おろし」や「六甲おろし」と同じく、山から吹き下ろす風のこと。その様な勢いある風の如くに神のお徳を頂く、素晴らしい御代であることを意味します。二番の「壇安の池」とは、奈良時代、橿原の香具山の西の麓にあった、海原の如く広大な池のこと。その池よりも尚広く、更に、海に止めどなく押し寄せてくる波の様な恵みに浴すること

### ご教話 日本の建国は「八紘一宇」の精神



発行所 大阪本部  
大阪府西淀川区北堀江3丁目10番  
電話 06(6531)6722  
FAX 06(6531)6152  
© (非売品)

3月号

自家成立の  
根源は和にあり  
秩序の根源は  
神祖崇敬より

建国記念祭  
(2月11日)



建国記念祭  
奉納神楽「浦安の舞」

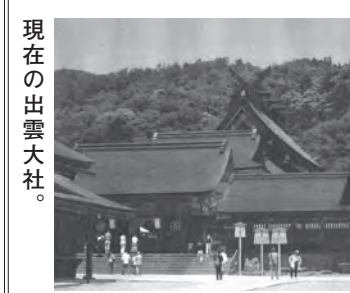
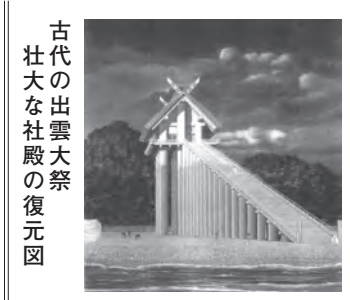
ご事無く万世一系の天皇を戴く、尊い国であることを意味します。四番は読んで字の如く、日本は、世界の中で類を見ない、素晴らしい皇室を戴き、大和民族という一つの民族が柱の如くに纏まった国家であり、その姿は、まさに神の恵みである日の光に輝いているということを意味します。よくお解りの様に、日本国家の基本がこの歌に込められております。紀元節が如何に大切で、意味のあるものなのかと云うことを、我々が伝えなければ、次の世代には伝わりません。大東亜戦争以前の教育を受けられた方は、もう殆ど居られません。つまり、現在の日本国民の殆どは、公的な教育現場で紀元節について学んでいないのです。扱、先日建国記念の日に近い日ということで、橿原神宮を参拝致しました。お

### 祭大例之春

大阪本部  
御本宮  
養老教会  
西播教会

四月十一日(日)  
四月四日(日)  
四月十八日(日)  
四月二十九日(祝)

祭典 午前十時執行  
神輿 午後一時半出発  
巡行



古代の出雲大祭  
杜大な社殿の復元図

現在の出雲大社。

先日、米子敬和会出張の折、出雲大社を参拝致しました。出雲大社の御祭神は、寶生教の主祭神でもあり、また大国主之命でございます。出雲大社の本殿は、「大社」と呼ばれる建築様式で、その特徴は「妻入り」とい、長方形の建物の短辺側に出入口があります。反対に教会の御神殿は「神明造」と呼ばれる建築様式で、長方形の長辺側に正面出入口がある「平入り」という分類です。更に、教会では神様を北から南に向いてお祀りし、

参拝者は正面である南から北に向かって参拝します。しかし出雲大社では、参拝者は南から北に向かって参拝しますが、大国主之命の御神座が西を向いてお祀りになっておられるので、神様の横顔に向かって参拝することになっておられるのです。出雲大社御鎮座の由来は、はじめに御祭神の大国主之命は、日本の土着の神である国都神です。反対に天照皇大神を始めとする、高天原に居られた神を天津神と呼びます。

その天照皇大神が中つ国（我々の住む世界）を見下ろして、何と素晴らしい国が出来たのだろう。この国を是非私の子孫に治めさせたい。」と考えられました。そこで天照皇大神は、主之命に対して「この豊か美しい国を私に譲って欲しい」と仰いました。このお話は「国譲り」として有名な神話の一つです。

### ご教話 日本は、まさにに神国

出雲大社にお祀りされておられるのは、実は大国主之命一柱だけではありません。寶生教の主祭神であります天御中主之尊、そして初伝修行の祝詞の中でも申し上げる、高御産巢日神、神産巢日神、更に二柱の神を合わせて、別天津五柱之神と申し上げ、配祀されています。出雲大社近くには歴史博物館に行きますと「出雲国造神賀詞」という祝詞を目にすることが出来ます。出雲国造は出雲大社の宮司のことで、神代の時代より

### 教会行事

三月 一日(月)	月並祭	午後七時
七日(日)	御本宮月並祭	午前十一時半
八日(月)	御本宮遙拝式	午前九時
九日(火)	修行日	午前十一時、午後七時
十日(水)	修 行	午後七時
十一日(木)	教 祖 祭	午後七時
十二日(金)	寶生会(富士スタジアムC)	
十三日(土)	養老教会修行日	午後七時
十四日(日)	春之祖先霊大祭	午後一時半
十五日(月)	祭典後、教徒総会	
二十日(祝)	名古屋地区敬和会	
二一日(日)	修行日	午前十一時、午後七時
二二日(月)	西播教会修行日	午後七時
二三日(火)	御本宮春之大祭	午前十一時半
二四日(水)	御本宮遙拝式	午前九時
二五日(木)	修行日	午前十一時、午後七時
二六日(金)	修 行	午後七時
二七日(土)	教 祖 祭	午後七時

り続く家系が現在でも代々継がれております。出雲国造はその位に就かれると、まず三年間精進潔斎し身を清め、皇居に於いて天皇に対して「出雲国造神賀詞」を奏上するのです。その内容は、日本国家の発展、皇室の安泰、そして国都神は天津神に刃向かうこととは致しません、という意味のことばが読み込まれており、この儀式が恐らく大国主之命の時代から、今も尚執り行われております。考えてみますと、我々の

日本という国は、まさに神がお造りになった国で、神々が実際に活動しておられた。そしてその神の分御霊が、我々日本人なのです。更にいつも申し上げております様に、我々日本人は、自然の巡りに逆らうこと無く、自然のまにまに生きるという事が大切なのです。

「日本書紀」を繙くと、「初代神武天皇、神倭磐余彦命、辛酉之歲春正月、庚辰之朔日、橿原宮二即位ス」とあります。その神武天皇を称えて、「畝傍の橿原に、大地の底の磐に宮柱を確りと立てて、高天原に千木をそそり立て、初めて国を治めた、始馭天下之天皇（ハツクニシラススメラミコト）、その天皇を神日本磐余彦火出見天皇と申す」とあります。つまり「始めて天下を馭ひし天皇」。初めて天つ日嗣の大業、天皇に即位されたその日を、現行の暦に合わせて建国記念の日と称え祝う訳なのです。では、神武天皇は、一体どの様な理想を以て建国されたのでしょうか。歴史研究に由りますと、

### 祝祭日には必ず国旗を掲揚しましょう

### 寶生教 国旗掲揚運動



神倭磐余彦命が、九州から大和に向けて出発したのは二十二、三歳の頃ではないかと云われております。後に神武天皇として即位される当時二十二、三歳の神倭磐余彦命は、どれ程素晴らしい能力をお持ちだったのでしょうか。

何と九州に居ながら、大和国には広大な平地が広がっていて、其処に都を置くことが、この国を立派に打ち立てるのに相応しいということ、既に見通されていたのです。

現代では、インターネットが普及し、調べれば地球の裏側のことでまで即座にわかっています。しかし、当時九州から奈良県の様子など知る由もありません。それ程、先を見通すお力、



建国記念祭 「紀元節の歌」斉唱



神武天皇が祀られる橿原神宮

又、情報を収集する術をお持ちだったのではないかと云われております。

未だ若き年齢で、それ程の政治力、情報処理能力をお持ちであったからこそ、

### 話 国・祖先の道筋を伝える

「故教母の祥月命日に因み」 月並祭 (2月1日)

年が明けあつという間に一ヶ月が過ぎ、早くも二月がやって参りました。

二月は「如月」。その由来は「衣更着」とも云われ、まだまだ厳しい寒さが続きます。

今日二月一日は、故教母、國寶統本世根姫之命の祥月命日で、帰幽されてより、数え七十五年が経ちました。ご存知の様に、亡くなられてから五十年経ちますと、遠津御祖としてお祀り

その後二六八一年、揺るぎなく続く国家の初代天皇に即位される訳なのです。その神武天皇の建国の精神が「八紘一宇」という精神です。「日本書紀」には次の様に書かれております。

「六合を兼ねて以て都を開き、八紘を掩いて宇と為さん事、亦可からずや。」つまり、世界中、八方に居る全ての人が家族として一つの家となし、共に栄えていける様な世の中をつくりたいというのが、初代神武天皇の建国の精神だったのです。

神武天皇のこの御思いは、大神様の御神意そのものと云えます。その後二六八一年、揺るぎなく続く国家の初代天皇に即位される訳なのです。その神武天皇の建国の精神が「八紘一宇」という精神です。「日本書紀」には次の様に書かれております。

「六合を兼ねて以て都を開き、八紘を掩いて宇と為さん事、亦可からずや。」つまり、世界中、八方に居る全ての人が家族として一つの家となし、共に栄えていける様な世の中をつくりたいというのが、初代神武天皇の建国の精神だったのです。

私達の生きる現代社会は物が満ち足りております。最近「コロナ、コロナ」と騒ぎ、不便な思いを致す場面もございしますが、それでも昔の暮らしと比べると大変恵まれております。特に今の子どもさん方は、生まれた時の恵まれた環境が当たり前、その環境しか知り得ません。

その事が一概に悪いとは云えませんが、やはり、そこに辿り着くまでのご祖先の、即ち、神道の基本である寶生教は神道です。その基本を誇りに思い、美しき日本らしき、日本人らしきを次の世代に伝えていくことが、我々教信徒の使命ではないかと存じます。



奈良、大神神社

二柱の神は力を合わせて国造りを為されておりましたが、ある時、少名彦之命が姿を消されます。

思い悩んでいた大國主之命の前に「私はあなた(大國主之命)の幸魂・奇魂である」と名乗る神が現れます。その神が大物主大神だったのです。

大物主大神は三輪山に鎮まり祀られる事を望まれます。そうすれば畿内を平定し、国造りを成就させましょうとおっしゃったのです。

大物主大神には拝殿はありませんが本殿がございませぬ。大物主大神は三輪山に鎮まれ、ご神体である山自体に祈りを捧げるという姿が今尚続いております。神話と聞くとまるでおとぎ話の様な気も致しますが、実際その様な出来事があったから、今でもその信仰が続いていると云えます。

### 御本宮 月並祭 毎月第一日曜日 午前十一時半より

### 「コロナ禍なれど豆まき神事も賑々しく」 「節分厄除祈願祭」 厳粛に挙行

二月二日(火)、節分の日、節分厄除祈願祭が厳粛に執り行われました。

翌三日が立春で、節分が二日になるのは、明治三〇年以来、実に二四年ぶりとのこと。



節分祭、御神幣祈願を受ける厄年の方々。

の皆様ご参列の中、開式。神籬を設け、祓戸四柱之神に降神いただき、斎主祝詞では、令和三年が転禍きかけられた「人形」もご招福、安心立命な年となる様、又殊分けて、厄年の皆焼福招福をご祈願下さいました。



節分祭、奉納神楽「剣の舞」

く、佳き年となる様ご祈願下さいました。合わせて、皆様が息を吹きかけられた「人形」もご神前にお供えし、身体堅固、焼福招福をご祈願下さいました。

### 話 「世界最高の知性は日本史から学べ」 教祖祭 (2月9日)

明後日、二月十一日は建国記念の日でございます。この祝日の意味、意義はよくご理解頂いているものと存じます。

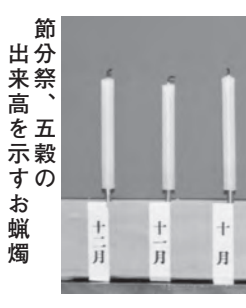
初代神武天皇が橿原宮で即位されてより二六八一年。一系の天皇をいただいて国家が存在し続けている日本は、世界で見ても最長の歴史を有する国です。それ程日本は素晴らしい

国であります。では海外諸国は、日本という国をどのように評価しているのでしょうか。

評論家、佐藤智恵氏の著書「ハーバード日本史教室」には「なぜ世界最高の知性は日本史から学ぶのか」とあります。

「戦後の日本の経済成長は、まさに、アジアのモデル。又、知識によって国を発展させてきた歴史がある。」これが、世界が見習うべき日本の素晴らしい点だと生徒達に教えるそうなのです。

「よき人になる為には三つの道がある。一つは、知識を得る道。一つは、神を信仰する道。一つは、よい行いを実践する道。」



節分祭、五穀の出来高を示すお蠟燭

「日本の大学の最高峰、東京大学は世界第二十三位。ハーバード大学の優秀さが理解頂けると存じます。」

重要な事柄は全て皆で議論して進めなさいという事が、世界に先駆けて憲法と